



琉球アスティーダスポーツクラブ(7364)

卓球プロリーグ初優勝によりスポンサー数が増加。新チーム設立、広告、選手マネジementなど先行投資を加速

TOKYO PRO Market | 娯楽施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG 7364:JP | REUTERS 7364.T

- 2/28発表の2021/12通期は、売上高が前期比19.1%増、営業利益が同▲1.91億円(前期は+11万円)、純利益が同▲1.34億円(前期は+579万円)
- 卓球プロリーグ初優勝によりスポンサー数が増加。クラブトークンの発行、フェス開催など、スポーツ×観光×テクノロジーを積極化
- 新チーム「九州アスティーダ」のTリーグ参戦、SNSマーケティング、アスリートマネジement会社の設立など事業領域拡大を加速

What is the news?

2/28発表の2021/12通期は、売上高が前期比19.1%増の4.74億円、営業利益が▲1.91億円(前期は+11万円)、経常利益が▲1.35億円(前期は+834万円)、純利益が▲1.34億円(前期は+579万円)。卓球プロリーグ「Tリーグ」でのシーズン初優勝により、スポンサー数が増加した一方、飲食事業の営業時間短縮、新規事業への先行投資等が響いた。

セグメント別の通期業績は以下の通り。①スポンサー収入を主力とするスポーツ関連事業は、売上高が前期比52.2%増の2.94億円、セグメント利益が▲1,161万円(前期は+7,034万円)。リーグ優勝によりスポンサー数が増加したほか、ブロックチェーン技術を利用したチームへの応援の「しるし」や「証」の役割を果たすデジタルアイテム「クラブトークン」の発行、アスティーダフェスの開催が増収に寄与した。一方、子会社への先行投資により費用が増加した。②直営とフランチャイズで展開する飲食事業は、売上高が同9.3%減の1.86億円、セグメント利益が▲5,066万円(前期は▲72万円)。直営店1店舗を新規出店するも、新型コロナウイルス感染拡大による営業時間の短縮が響いた。③2021/12期から開始したその他事業は、マーケティング事業及びアスリートマネジement事業を展開しており、売上高が94万円、セグメント利益が▲268万円となった。

How do we view this?

2022/12通期の会社計画は、売上高が前期比2.7倍の8.33億円、営業利益が前期の▲1.91億円から14百万円、経常利益が前期の▲1.35億円から10百万円、純利益が前期の▲1.34億円から10百万円へ黒字転換。クラブトークンの発行などテクノロジーの積極活用を継続するほか、フェスの開催、アジア地域への情報発信強化等によりスポンサー企業の増加に努める方針だ。更に飲食事業はテイクアウト・デリバリーの強化、新規フランチャイズ店の出店推進により売上拡大を図るとしている。

同社は、2021年4月に九州アスティーダ株式会社を設立し、プロ卓球女子チーム「九州アスティーダ」がTリーグに参戦。更に新規事業として、8月には沖縄県在住のインフルエンサーを活用したSNS広告を行うアスティーダマーケティング株式会社、9月にはアスリートのマネジementを行うAMG株式会社を子会社として続けて設立するなど、事業領域拡大を積極化している。先行投資による新規事業の収益化が注目されよう。

業績推移

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F
売上高(千円)	71,501	261,219	398,339	474,722	833,497
経常利益(千円)	▲30,699	4,691	8,343	▲135,828	10,288
当期利益(千円)	▲33,375	6,529	5,796	▲134,305	10,008
EPS(円)	▲34.34	5.06	4.17	▲94.41	6.71
PER(倍)	-	138.34	167.87	-	104.32
BPS(円)	3.36	37.56	56.94	28.98	-
PBR(倍)	208.33	18.64	12.29	24.15	-
配当(円)	-	-	-	-	-
配当利回り(%)	-	-	-	-	-

(※)2018/3/1付で普通株式1株につき100株の割合で、また2019/4/25付で普通株式1株につき3株の割合で、および2019/11/22付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を実施したが、2018/12期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPSを算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

フィリップ証券株式会社

配当予想(円) - (会社予想)
 株価(円) 700 2022/4/13(終値)

会社概要

2018年2月に代表取締役の早川周作氏が、「沖縄から世界へ」をスローガンに、スポーツの力で社会貢献することを目指して設立。世界で活躍する選手たちに刺激を受けた沖縄の子どもたちがスポーツに興味を持ち、優秀な選手に育つことで、沖縄にとっての「明日の太陽(ていだ)」となることを目標に「アスティーダ」との社名がつけられた。2021/3/30にTOKYO PRO Marketに上場した。

同社のビジネスモデルは、スポンサー収入のみに頼る従来のスポーツクラブ経営と異なり、「プロスポーツビジネスの新しい循環型モデルの創出」のために「卓球を中心としたプロスポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を図ることに特徴があり、スポーツ関連事業と飲食事業の2事業セグメントで構成される。

スポーツ関連事業は、①同事業売上約80%を占めるスポンサー収入、②プロ卓球リーグのTリーグ分配金、③卓球教室収入、④グッズ収入、⑤ファンクラブ収入、⑥Tリーグのホームゲームに係るチケット収入、⑦YouTubeチャンネルからの広告などその他を含む。

飲食事業は、「バルコラボ」の冠名を中心とした洋風居酒屋(バル)型の店舗を沖縄で直営またはフランチャイズで展開。飲食店舗には卓球台が置かれ、卓球を楽しみながら琉球アスティーダのファン同士でコミュニケーションを図ることができるなど、沖縄ならではの料理を通じて「スポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を高める役割も果たしている。

その他事業は、①SNSのインフルエンサーを活用したマーケティング事業を行うアスティーダマーケティング株式会社、②アスリートのマネジementを行うAMG株式会社を展開する。

企業データ



主要株主(2022/3/31)

株主名	(%)
1.早川 周作	58.88
2.MTGV投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社MTG Ventures	4.02
3.岡田 晃男	3.01

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

山口 亮太

ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。